

# 都が初の行政処分

東京都は、建物解体現場への立入指導の中で、廃棄物処理・清掃に関する法律違反が見つかったとして、初めての行政処分を行ったことを明らかにした。立入指導は、建設現場の不法投棄対策として2007年度から開始、年間2000件を目標に現場指導を実施し

「一般的に二戸建て住宅のCO<sub>2</sub>排出量なら約50%の削減が可能だ。夏場は断熱効果、冬場は保温効果を持つセラミックを応用した建材の研究が首都大学東京システムデザイン学部の手で進められている。セラミック応用建材の研究は同学部が民間企業の協力を得て進める産学の共同プロジェクト。2008年度には東京都からの財政支援も受ける見通しで、産学官が連携して研究課題に取り組む。研究代表者の川上満幸システムデザイン学部長は「来年7月に開かれる洞爺湖サミットに成果の一部を報告したい」と自信を見せている。

## 首都大学東京産学官でCO<sub>2</sub>削減対策

セラミック系材料を能く高反射塗料のよう

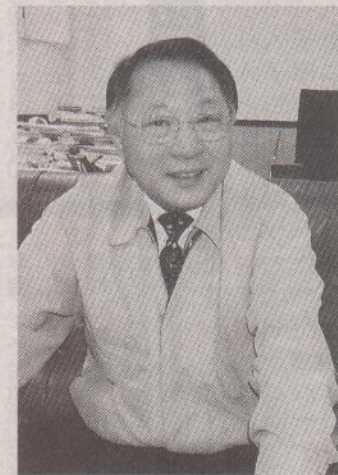
に直射による熱を反射するだけでなく、周辺からの伝導熱・輻射で、セラミック塗料が持つ優れた断熱・保温効果を実証済み。



一戸建て

# CO<sub>2</sub>排出量「半減も可能」

## セラミック応用建材の研究開発



「3年以内に試作品を開発したい」と話す首都大学東京の川上満幸システムデザイン学部長

「3年以内に試作品を開発したい」と話す首都大学東京の川上満幸システムデザイン学部長

「3年以内に試作品を開発したい」と話す首都大学東京の川上満幸システムデザイン学部長

「3年以内に試作品を開発したい」と話す首都大学東京の川上満幸システムデザイン学部長

「3年以内に試作品を開発したい」と話す首都大学東京の川上満幸システムデザイン学部長

「3年以内に試作品を開発したい」と話す首都大学東京の川上満幸システムデザイン学部長

「3年以内に試作品を開発したい」と話す首都大学東京の川上満幸システムデザイン学部長

「3年以内に試作品を開発したい」と話す首都大学東京の川上満幸システムデザイン学部長



東京大学のⅢ期用地の性状の把握を策定し、渉を進めるが完了している。Ⅲ期用地は現キャンパスのほぼ北側に位置する

### ◆柏キャンパス（Ⅲ期用地分）

ナノスペース・サイエンス・アンド・テクノロジー教育研究施設	2,000
環境傾度バイオーム教育研究施設	10,000
強磁場MRIコンプレックス	16,000
実験農場（温室）	100
メディカルゲノム専攻・自然環境学専攻海洋環境学コース研究棟	4,200
環境シミュレータ教育研究施設	4,800
極限コヒーレント光ナノサイエンス研究センター	7,500
宇宙線大型観測装置開発試験棟	1,500
宇宙線国際研究センター	2,000
海洋研究所	4,000

面積は部局要望建物

## 都立霊園供給で合葬式などの集合墓地提言

東京都公園審議会が、「都立霊園に新たな墓所の供給とについて」の中間報告まとめた。都民の墓に対する需要が年々増えている背景を踏まえ、存霊園を有効活用し、葬式墓地など集合墓供給に取り組み、都立霊園の応募は年間連続して1万400件前後で推移し、特に集合墓地の

を復旧するため、実計を大東設計コンサルタント（千代田区）とイーエステック（さい市）に委託した。設間は2008年3月で、実施設計が完了し、順次工事を発注していく。台風9号は首都圏撃し、出水や強風に河川や砂防施設に被害をもたらした。下流では、足立区新北区浮間約110の木柵、約1000